

## 科学的探究Ⅱ 中間検討会

令和6年1月20日 前橋女子高校にて開催

SSH 第Ⅲ期の指定を受け、本年度がその1年目となります。第Ⅲ期は、「答えのない問いに対して、失敗を繰り返しながら挑み、学び続けられる科学技術人材の育成」をテーマとし、生徒が果敢に正解のない課題に取り組めるよう、「課題研究すごろく」を開発するなど、失敗しても何度でもやり直せる環境を用意しました。生徒は、「すごろく」の中で行ったり来たりをしながら試行錯誤を繰り返し、自分自身でPDCAサイクルを何度も回し、答えのない問いを探究していく力を身につけます。生徒の「試行錯誤」を最も重視している点が、第Ⅲ期最大の特徴と言えます。

今年度の新教育課程で学ぶ生徒からは、3年次に「総合的な探究の時間」を履修するため、3年次まで研究を続けることになりました。それに伴い、従来は成果発表の場であった本会も、試行錯誤の過程を見学者と共有する「中間発表」的な機会と位置づけ、それによって生徒が自身のこれまでの活動を評価したり、今後の研究のアイデアを得ることができるようになりたいと考えました。名称を「発表会」ではなく「検討会」としておりますのも、そのような意図があります。

保護者や大学の先生、他校の生徒など外部から人を招き、3年次での充実した成果発表につながるようなご指導をいただき、刺激を受けました。

### 発表の様子

